

# 鹿屋市立鹿屋女子高等学校

## なのはな学校だより

令和3年4月16日発行〈第1号〉

### 「新たな鹿屋女子の創造」



校長 濱島 幸治

本校は、大隅地区唯一の市立女子高等学校として昭和33年に開校、63年の歴史を刻みながら知・徳・体の調和のとれた心豊かで、たくましい人間形成を目指し、地域に密着した教育活動が脈々と受け継がれております。昨年3月には、バラのレリーフが栄える新校舎が完成しました。間もなく、グラウンド整備、部室棟、テニスコートも完成します。

生徒たちは「正しく、やさしく、すこやかに」の校訓の具現化を図りながら品格のある、落ち着いた校風の中で、学力の向上や各種資格試験の取得のため熱心に学業に取り組んでおります。学業のみならず、様々な学校行事や体育系・文化系の部活動等にも意欲的に参加しています。そのような日々の学習活動を積み重ねる中で、文武両道を実現させる知力・体力を身につけるとともに、青春の思い出を一つ一つ胸に刻み込んでいます。

昨年度も進路実現、資格取得、部活動等に素晴らしい成果を収めることができました。進路面では、国公立大学をはじめとする4年制大学や短大・専門学校への進学、県内外の企業等への就職という両面でそれぞれの目標を達成しました。部活動においても、コロナ禍で高校総体は中止となりましたが、横断幕にあるように県大会を勝ち抜き、九州大会や全国大会に駒を進めた部もあります。

昨年度から、「総合選択制」において学科横断的な授業を提供し、その道のプロである地域の方々を講師に迎え、生徒自ら進路実現のために必要と考える科目を選択履修し、質の高い学習活動を行っております。

結びに、地域に親しまれ愛される学校づくりを目指して、様々な教育活動を展開し、生き生きとした生徒の姿をお見せすることができるように、今まで以上に職員一同精一杯取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬ御理解・御協力をお願い申し上げます。

## 第64回入学式

4月7日(水)、167名の新入生を迎え第64回入学式が挙行されました。新入生の代表者は、伝統ある鹿屋女子高の生徒としての自覚と誇りを持ち、自己の目標の実現に向け日々努力を続けると宣誓しました。また本校では、今年度より1学年のみ二人正担任制を導入し、2人の正担任と副担任の計3名で生徒に寄り添った丁寧な指導を行います。感染症対策を取りながら音楽部からの校歌紹介や吹奏楽部の演奏で、盛大に新1年生を迎えることができました。鹿屋女子高校生として「正しく、やさしく、すこやかに」大きく成長してほしいです。



## 対面式・部活動紹介

4月8日(木)、対面式ならびに部活動紹介を行いました。学科ごとに行われた対面式では2・3年生から組章とメッセージカードが贈呈されました。感染症対策で長く言葉を交わすことはできませんでしたが、顔を合わせてオリジナルメッセージを手渡すことで交流を深めることができました。対面式に引き続き、部活動紹介が行われました。文化系・運動系、計21の部活動が工夫を凝らしたパフォーマンスで、それぞれの活動を紹介しました。ぜひ色々な部活動を見学して自分に合った部活動に入って青春を謳歌してもらいたいです。



鹿屋女子高校の詳しい情報をホームページに掲載しています。鹿屋女子高校で検索してください。



ぜひ遊びに来てね!



鹿屋女子高

